

雑草の逞しさに学んで

市議会議員 益田牧子

我が借家の庭では、ゴーヤ、ピーマンが実り、サツマイモ、カボチャも元気にツルや葉を伸ばしています。でも、一番逞しいのは、地面に根を張る雑草たち。

「消費税増税と社会保障の一体改革」法案は、民意を踏みにじり、参議院で強行されました。私たちは、雑草の逞しさに学び、諦めないで、「実施させない」運動を強め、衆参議員選挙では、民・自・公の増税勢力に審判を下したいものです。

まだまだ、厳しい暑さが続きます。なにより、よく眠り、よく食べ、この夏を乗り越えたいものです。みなさんもどうぞ、おからだを大切にお過ごしください。



残暑お見舞い申し上げます

市議会議員 上野みえこ

立秋とはいえ、暑い毎日が続いています。いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は、7月の豪雨で甚大な被害が発生、市内でも被害の大きかった龍田地区は、堤防を越えた白川の濁流で家屋が押し流され、或いは倒壊するなど、昨年の東日本大震災の津波被害の様相でした。日本共産党は、聞き取り調査も行い、いち早く復旧活動に取り組んできました。市議会でも、8月9日に現地調査を行いました。9月議会には災害対応の補正予算が提案されますので、地域住民の声が反映されるよう力を尽くしたいと思います。

国会では、民自公3党が、消費税増税等の国民に背を向けた法改悪を強行しました。一番苦しんでいる被災者はじめ、国民全体に大きな痛みをもたらすものです。

「国民の苦難軽減」という立党の精神を改めて胸に刻み、みなさんと共に引き続き頑張っていきたいと思ひます。猛暑の毎日、お体を大切に。

日本共産党 市議会だより

NO. 8 13
2012年8月19日

発行：日本共産党熊本市議団

電話 328-2656

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

FAX 359-5047

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

残暑 見舞 申 上

祖父の初盆で感じた平和と命

市議会議員 なすまどか

暑い熊本の夏もまだまだ続きそうです。みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

祖父の初盆のため、大分の竹田市に帰省しました。主をなくし閑散としていた家に親戚一同が集まり、久方ぶりに人の声が溢れました。祖父がいつも座っていたテーブルを見るたび、祖父を囲んで賑やかにしていた時を懐かしく思い出しました。

戦争時代を生き抜き、痛苦の経験から「戦争だけはいかん」と、常々私に伝えてくれた祖父。遺志をしっかりと引き継ぎ、頑張りたいと決意を新たにしました。遺影を前に手を合わせる私を真似て手を合わせる娘。引き継がれる命のなかに、しっかりと平和の尊さも刻んでいきたいと思ひます。

今もどこかで戦争が続き、尊い命が奪われています。私たちの国が、こうした戦争の出撃拠点である米軍基地を提供していることを忘れてはなりません。

住民の反対を押し切りオスプレイ配備を強行した野田内閣。来るべき衆参議員選挙では、平和の願いがしっかりと届く政治の実現を目指し頑張ります。

●新旧事務局員よりごあいさつ●

【退任挨拶】

皆様、大変長い間お世話になりました。本当にありがとうございます。市議団の仕事は退きますが、今後も地域の方々のお役に立てるよう活動を続けていきたいと思ひます。
今後ともどうぞ宜しくお願い致します
宮城 泰子

【新任挨拶】

この度市議団控室の事務局員としてお仕事をさせて頂くことになりました。市民の暮らしのため、日々力を尽くしている議員の皆さんに、少しでも快適に仕事をして頂けるよう頑張っていきたいと思ひます。
どうぞ宜しくお願い致します。
廣瀬 眞美



豪雨災害により被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

九州北部豪雨水害

白川の治水対策について国土交通省に要請

8月10日、日本共産党熊本県委員会は、甚大な被害が発生した九州北部豪雨水害に関して、白川の治水対策を早急に進めることなどを求め、国土交通省に申し入れを行いました。

申し入れには、松岡とおる県議、市議団のほか、仁比そうへい前参院議員、田村貴昭九州沖



国土交通省九州地方整備局へ申し入れ

縄ブロック事務所長、山部ひろし党地区災害対策本部長らが参加しました。

国交省「河川整備が未完成の地域で水害が発生」

申し入れは、水害直後からの白川水害地域の調査に基づいて行ったものです。

白川については、小碩橋より下流が国の管理、上流が県の管理となっています。国管理の区間については、河川整備計画に沿って河川改修などが進められていますが、堤防の未整備や橋の架け替えによる堤防の切れ目など河川整備に至っていない箇所が多々ある状況です。いずれもこうした地点で白川の氾濫が発生しています。

申し入れでは、現場の写真を交え、水害の原因が河川改修の遅れにあっ

たことを指摘。国土交通省も「水害は河川整備ができていない地域で発生している」と認めました。

多くの被災者が、今回の水害について、「堤防の設置やかさ上げ、河床の浚渫（泥や砂利の撤去）、川幅の拡幅などをしていれば起こらなかった。人災ではないか。」と怒りの声をあげています。

申し入れでは、白川の復旧・改修を河川激甚災害緊急特別事業に指定し、来年雨季までに堤防の整備など完了させるよう求めました。

立野ダムによらない治水対策を！

7月20日、幸山市長は国土交通省に対して、立野ダム建設の推進を要望しました。

しかし、立野ダムについては、想定を超える豪雨には対応できないこと、土砂の堆積や流れてくる岩石などにより、水を流す穴がふさがれる可能性があることなど、治水効果について疑問の声も寄せられています。

申し入れでは、国交省自身が

示している「立野ダム以外の代替案（※）」をもとにした「ダムによらない総合的な治水対策」を策定するよう求めました。

（※）「河道の掘削」「遊水地」「築堤」「水田の湛水機能の向上」「雨水貯留施設等」「輪中堤」などの組み合わせによる治水対策が示されています。

なすまどか議員が一般質問を行います

ぜひ傍聴にお越しく下さい

8月30日（木）午前**10時**からの予定です

1. 九州北部豪雨水害について
 - ① 避難指示の遅れなど初動体制の課題について
 - ② 生活再建・住宅再建に向けた取り組みについて
 - ③ 今後の治水対策について
2. 中心市街地のまちづくりについて
 - ① 中心市街地再開発計画の見直しについて
 - ② 閉鎖された産文会館の今後の利活用についての提案
 - ③ 駐輪場有料化後の課題について
3. 政令市移行後の区制について
 - ① 区バスについて
4. 子育て支援について
 - ① 保育への支援
 - ② 子ども医療費助成の拡充について
5. 地域からの要望

